

年	組	名前
---	---	----

令和2年1月号



交通安全テスト

(5・6年生用)



ただ正しいものには○を、まちがっているものには×を記入してください。

- ① 歩道で自転車同士が行き違う時は、自分から見て左側によけるようにする。

☐

- ② 自転車で走行中、ブレーキを掛けるときは、先に前輪(右)のブレーキを掛けた方がよい。

☐

- ③ 自転車で道路を走行中に、前を走っていた車が信号待ちのため停止したので、後方の安全を確かめて、止まっている車の右側を通り抜け、車の前に出た。

☐

- ④ 自転車は、交差点やその近くの道路に「自転車横断帯」があるときは、その中を通らなければならない。

☐

- ⑤ 歩行者が、たくさん渡っている横断歩道を自転車に乗ったまま渡った。

☐

交通安全テスト

令和2年1月号

解答・解説（5・6年生用）

- ① 歩道で自転車同士が行き違う時は、自分から見て左側によけるようにする。
【○】

A：自分から見て左側によけるようにしましょう。

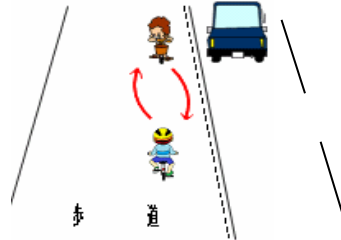
- 交通の方法に関する教則 第3章第2節2（走行上の注意（抜粋））

(10) 歩道でほかの自転車と行き違うときは、速度を落としながら安全な間隔を保ち、歩行者に十分注意して、対向する自転車を右に見ながらよけるようにしましょう。

<指導のポイント>

対向する自転車同士がお互い歩道の車道寄りを走行すれば、衝突、接触することになります。

自転車で歩道を走行中、前から自転車が走行してきた時は、十分に速度を落とし、お互い譲り合いながら、相手の自転車を右に見ながらよけるようにしましょう。



- ② 自転車で走行中、ブレーキを掛けるときは、先に前輪(右)のブレーキを掛けた方がよい。【×】

A：先に左（後輪）のブレーキを掛けましょう。

- 交通の方法に関する教則 第3章第1節4（自転車の正しい乗り方（抜粋））

(5) 停止するときは、安全を確かめた後、早めに停止の合図を行い、まず静かに後輪ブレーキを掛けて十分速度を落としながら道路の左端に沿って停止し、左側に降りましょう。

<指導のポイント>

一般用自転車のほとんどが右ブレーキは前輪、左ブレーキは後輪となっていますので、ブレーキを掛けるときは左（後輪）から掛けましょう。

（※JIS規格でブレーキレバーの配置は定められています。）

もし先に右のブレーキを強くかけると前輪がロック（回転が止まる）され、その勢いで後輪が浮いてしまうこともあり、バランスを崩し大変危険です。

- ③ 自転車で道路を走行中に、前を走っていた車が信号待ちのため停止したので、後方の安全を確かめて、止まっている車の右側を通り抜け、車の前に出た。【×】

A：止まっている車の前に割り込んだり、車の間を縫って前へ出たりしてはいけません。

- 道路交通法第32条（割り込み等の禁止）

車両は、法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため、停止し、若しくは停止しようとして徐行している車両等又はこれらに続いて停止し、若しくは徐行している車両等に追いついたときは、その前方にある車両等の側方を通過して当該車両等の前方に割り込み、又はその前方を横切ってはならない。

- 交通の方法に関する教則第3章第2節2（走行上の注意（抜粋））

- (4) 交差点や踏切の手前などで、停止している車やゆっくり進んでいる車があるときは、その前に割り込んだり、これらの車の間を縫って前へ出たりしてはいけません。

＜指導のポイント＞

前の車の右側、左側に関係なく、信号待ち等をしている車の前に割り込んだり、車の間を縫って前へ出たりしてはいけません。

④ 自転車は、交差点やその近くの道路に「自転車横断帯」があるときは、その中を通らなければならない。【○】

A：近くに自転車横断帯があるところでは自転車横断帯を通らなければなりません。

● 道路交通法第63条の6（自転車の横断の方法）

自転車は、道路を横断しようとするときは、自転車横断帯がある場所の付近においては、その自転車横断帯によって道路を横断しなければならない。

● 交通の方法に関する教則 第3章第2節3（交差点の通り方（抜粋））

- (5) 交差点やその近くに自転車横断帯があるときは、その自転車横断帯を通らなければなりません。

＜指導のポイント＞

自転車横断帯が近くにある場合は、自転車横断帯を通して道路を渡りましょう。

⑤ 歩行者が、たくさん渡っている横断歩道を自転車に乗ったまま渡った。【×】

A：歩行者の通行を妨げる場合は、自転車に乗ったまま通行してはいけません。

● 交通の方法に関する教則第3章第2節1（自転車の通るところ（抜粋））

- (5) 道路を横断しようとするとき、近くに自転車横断帯があれば、その自転車横断帯を通行しなければなりません。また、横断歩道は歩行者の横断のための場所ですので、横断中の歩行者がいらないなど歩行者の通行を妨げるおそれのない場合を除き、自転車に乗ったまま通行してはいけません。

＜指導のポイント＞

横断歩道は歩行者が横断するための場所ですので、歩行者の通行を妨げるような場合は自転車から降りて、自転車を押して横断しましょう。